

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 西村 吉弘						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 公共政策							
〔演習内容〕 政策に関する研究について、理論と実証性に対する理解を深めることを目的とする。学習における動的過程を経て、第 1 に文献レビュー等の基礎的なスキルを身に付け、学問上必要とされる問いを見出せるようにする。第 2 に、各自が学問を追究する際、「何を追究するのか」、「新たな知見は何か」といった部分にアプローチできることを目標とする。 また、方法論の選定（フィールドワークによる質的研究なのか、理論研究なのか等）、フィールドワークの場合の対象の選定といった研究の基本事項について理解を深める。そして、自身に合った方法論を見出せるように学びを深める。 これらを踏まえ、適宜ゼミの中での発表を通して、他者からの批評を受け、精度を高める取り組みも繰り返し行っていく。自分自身と向き合って、丁寧に学問と対話し、各自の問題関心を見出し、追究していく。 以上の学習の過程を通して、最終的に論文作成を行い、完成後に成果発表まで行うこととする。							
〔科目の到達目標〕 論理的思考力の養成、学術論文の執筆能力の育成。これまで学習した内容、また本ゼミで更に追究した内容を、プレゼンを通してアウトプットできる力を養う。また、質疑応答を繰り返すことで、発表者としては他者からの批評に対する耐性を養い、質問者としては建設的な批評の仕方を学び、相乗効果を伴う「学習する組織」の構築を目指す。「学習する組織」については、P.センゲを参照。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2	DP3	
〔前提条件〕 3 年時に、教養演習を受講していることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 平常点と卒業研究の成果物により、総合的に評価する。							
〔教科書等〕 必要に応じて、適宜配布する。							
〔実務経歴〕 なし。							

授 業 スケ ジ ュ ー ル	
時 期	テ ー マ と 内 容
第 1 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 卒 業 テ ー マ の 検 討 内 容 : 卒 業 テ ー マ の 検 討 教科書・指定図書 必要に応じて、適宜配布する。
第 2 回 ～ 第 4 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 卒 業 テ ー マ に 沿 っ た プ ロ ッ ト の 作 成 内 容 : 卒 業 テ ー マ に 沿 っ た プ ロ ッ ト の 作 成 教科書・指定図書 必要に応じて、適宜配布する。
第 5 回 ～ 第 14 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 個 々 の 計 画 に 基 づ く 研 究 と 報 告 内 容 : 個 々 の 計 画 に 基 づ く 研 究 と 報 告 教科書・指定図書 必要に応じて、適宜配布する。
第 15 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 授 業 の 総 括 内 容 : 半 期 の 学 習 内 容 の ま と め と ふ り 返 り を 行 う。 教科書・指定図書 なし。
第 16 回 ～ 第 29 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 卒 業 研 究 に 向 け た 学 習 内 容 : 論 文 の 執 筆 ・ 進 捗 の 報 告 ・ 質 疑 応 答 教科書・指定図書 必要に応じて、適宜配布する。
第 30 回	テ ー マ (何 を 学 ぶ か) : 授 業 の 総 括 内 容 : 学 習 内 容 の ま と め と ふ り 返 り を 行 う。 教科書・指定図書 なし。